

拝啓 今年も早や 9 月下旬、台風が来て、日本中が雨と風に見舞われました。皆様のところは大丈夫でしたか。

いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、10 月の上旬にきんもくせい咲きますので、それを心待ちにしています。

今月は、『ミス・ローラ・J・モーク その信仰と生涯』(5)をお送りします。今回の追想録の中には、小西芳之助先生、小沢辰男さん、喜多川篤典さんも登場されます。喜多川篤典さんは、本誌読者の喜多川愛子先生の御主人になられた方ですが、学生時代キリスト教から離れかけたとき、小西先生の導きで信仰を続けられたことが書いてあり、不思議な御縁を感じました。

南原先生の伝記(たぶん、「一市民の見た南原繁 人と業績」という題になると思います。)の三谷太一郎先生に見て頂いた修正原稿を東京大学出版会に提出しました。学術書中心の出版社ですから、審査が厳しいと思いますので、審査にパスして出版できるようにお祈りください。

私は、月 2 回は高円寺の石館基さん宅の家庭集會に、月 2 回は早稲田教会に教友として出席しておりますが、石館さんの御病氣のため、石館家庭集會が近く閉じられることになりました。いつかはそのような時機が来ると思っていました。突然のアナウンスでした。石館家庭集會は小西先生が亡くなられてすぐはじめられ、30 年以上も続けました。石館さん御夫妻のお世話でここまで続き、聖書の信仰を小西先生によって長い間学ぶことができ感謝です。私はなお小西先生のテープによる集會を続けたいと思い、今井館に 20 人ほどの小會議室を借りることでできました。12 月からは、そこで、石館家庭集會のメンバーのほかに同志を募って高円寺東集會を始めます。私も、丁度会社勤めが終り、南原先生の伝記も書き終え、区切りの時期かと思いました。小西先生の恵心流キリスト教を学んでみたい人には開放し、受け入れていきたいと思っています。

また 9 月 24 日には聖路加病院の講堂で、日本のオスラー教会の總會があり、諸講演を聞いてきました。オスラーの言っていることと南原先生の言っていることの共通事項が多いことに驚かされました。徳永進先生という鳥取市でホスピスをやっておられるお医者さんの話がありましたが、実に具体的で、感銘を受けました。この日日野原重明先生の 100 歳誕生日をお祝いして、チェロ演奏やハッピーバースディの合唱がありました。なお、10 月 8 日(土)7:30~8:43 に、「日野原重明 100 歳」という NHK スペシャル番組があります。皆様もどうぞご覧ください。

さわやか秋がやって参りました。どうぞお身体御自愛下さい。

平成 23 年 9 月 25 日

山口周三

エンカウターの読者各位